



マスコットキャラクター
石若丸
いし
わか
まる

ISHIKAWA

県議会だより

令和8年1月10日発行
発行・編集／石川県議会(年4回発行)

第55号

地元の恵みをムダなく活かす。
石川の「食」の新ルール、始まります！

【議員提案条例】「石川県食品の有効活用の推進に関する条例」施行

石川県では、議員提案による新たな条例「石川県食品の有効活用の推進に関する条例」が令和7年9月定例会で提案され、可決・成立了。この条例は食品の有効活用を促進し、持続可能な社会づくりにつなげていくことが目的です。

また、県や市町、食品関連事業者、消費者が、

それぞれの立場で食品を有効活用するためには、どのように取り組むかその役割と方向性を示しています。

ふるさと石川で育まれた恵みを無駄なく活かし、サステナブルな未来を形成する—石川の「食」の新ルールが始まっています。

(解説は裏面へ)



Q 基本構想は策定したが、能登半島地震で足踏みしている西部緑地公園の再整備について、産業展示館や野球場の再整備、園内の再配置を同時に進むのは難しいと思うが、そろそろ次の段階へ進むべき時期ではないか。今後の方針を聞く。

A 再整備はまず産業展示館から始め、次に県立野球場、公園の再配置の順で進めたい。PFI（民間資金等活用事業）の利点や課題を踏まえつつ整備手法を検討し、来年度、基本計画の策定に着手し、この大規模プロジェクトを動かしていかたい。



下沢 佳充
金沢市 8期・自由民主党



- ① 学校でプールの授業後、海水パンツのまま金石海岸へはまぐりを探ったこと
② 女子プロレス観戦

Q 2023年の本県の合計特殊出生率は、過去最低の1.34となり、少子高齢化と人口減少が大きな課題となっている。生産年齢人口の減少を食い止め、県内企業の人才確保にしっかり取り組んでいく必要があると考えるがどうか。

A 大学と連携した学生の県内定着促進やJALCによる県外人材のリターン促進、外国人労働者の確保・定着支援などの人材確保に向けた施策に加え、10月に人口減少対策推進本部を設置し、全庁一丸で新たな対策を検討していく。



室谷 弘幸
加賀市 4期・自由民主党



- ① 子どもながらに修さと人の優しさを感じた日々を送っていた…
② 三色団子

Q 震災で生じた空き地を資源として活用するため、市町の空き地対策を支援する仕組みづくりや活用事例の公開、モデル事業の実施、NPOや企業などの多様な主体による後押しなど、県が中心となって総合的に取り組んではどうか。

A 空き地の問題は、今後の復興まちづくりに直結する課題であり、市町が中長期的な視点で地域の将来像を描き、その方向性を定めていくことが基本である。県としても市町や地域の皆さんとともに長く取り組んでいきたい。



石田 章
羽咋郡北部 1期・自由民主党



- ① 友達と暗くなるまで外で遊んだこと
② サウナ

Q 地震や豪雨による土砂災害で浄水場が被災し、断水が長期化した事例を踏まえ、背後に急峻な斜面が近接している鶴来浄水場について、大雨による土砂災害のリスクを考えた対策が必要ではないか。

A 令和7年2月、浄水場一帯を土砂災害警戒区域に指定し、リスクがある範囲を明確化した。新たに創設された国の制度を活用して、今年度、調査に着手しており、その結果を踏まえて砂防堤の整備など必要な対策を進めしていく。



吉田 修
野々市市 5期・未来石川



- ① 学校は大好きだったけど、勉強は大嫌いだったな～
② ジム通い

Q 河北潟干拓地内を東西に横断し、金沢市、津幡町、内灘町が管理する幹線道路は能登半島地震後、通行止めが続いているが、復旧の目途はいつか。また、復旧後は県道に昇格させ、堤防と一体となって県で管理すべきではないか。

A 堤防の本復旧完了後である令和8年8月頃の一部供用、令和9年夏頃の全線供用を目指し、事業主体である1市2町と連携して取り組んでいきたい。県道昇格は、全線供用後を視野に、今後、市町と協議していきたい。



燃田 宏明
河北郡 4期・自由民主党



- ①両親が共働きだったため力がぎっ子で、よく友達の家に遊びに行っていた
② 汗をかくこと(ジムでトレーニング&サウナ)

Q 釧路湿原でのメガソーラー開発が問題となっている。自然環境や景観、生活環境と再生可能エネルギー導入の調和を図るためにも、新たな環境総合計画ではメガソーラー開発は望ましくないと言及すべきだと考えるがどうか。

A 再生可能エネルギーはエネルギーの安定供給と脱炭素化を両立する上で重要である一方、その導入拡大に当たっては地域との共生が大前提である。今後、国の対応等も注視しながら、計画の改定作業を進めていく。



不破 大仁
金沢市 4期・自由民主党



- ① 小児喘息を抱えながらも、元気いっぱいに走り回っていた
② ウォーキングwithボイ活

Q 被災者生活再建支援制度の対象外となる若年層の実態把握が不十分である問題などをどのように認識し、必要に応じて生活実態や再建意向を把握する独自調査のほか、若年層の定着・帰還を促す制度見直しを行なう考えはないか。

A 若年層に限った新たな調査は想定していないが、適切な支援となるよう住まいの再建意向調査でも実態把握に努めている。能登で暮らしたいと思える地域づくりが重要であり、若い世代の声を十分に聞きながら取り組んでいく。



田中 敬人
金沢市 3期・無所属の会



- ① 小学校の授業参観で母親と同じ服だった先生の複雑な表情が忘れられない
② スマホ断ち。でも気づけば、そんな自分をSNSに投稿しそうに…

Q 県道高松内灘線は救急搬送ルートであるとともに災害時の広域避難経路であり、速やかな雪消装置の整備が求められるが、昨年度整備事業が採択された。かほく市外日角～白尾間の間の設計の進捗状況や今後の整備方針、計画を聞く。

A 人々が密集し交通量の多い箇所から優先的に工事を進めており、これまでに2.2kmが完了した。外日角～白尾間1.1kmについては設計を終え、今年度工事に着手し、秋には外日角角内で水源確保の井戸掘削工事を開始することとしている。



金子 健太郎
かほく市 1期・自由民主党



- ① 夏休みに父親と行った海水浴
② 食べ歩き。鶏をさばき、串打ちから炭焼きまでできるようになりたい

～令和7年9月定例会～ 議員のよこ顔

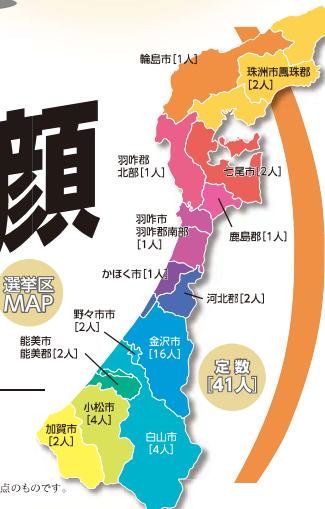
石川県政を見つめ、時に鋭く問いかける県議たち。ここでは令和7年9月定例会での質疑の一部とともに、各議員の人となりに迫るQ&Aを掲載します。議場では見えない人柄を含めて、あなたのまちの「代表者」の素顔を紹介します。

質問
内容
① 子どもの頃の思い出
② 最近のマイブーム

県議会ホームページで、本会議や予算委員会の生中継、過去の映像をご覧いただけます



※所議会議は令和8年1月5日時点のものです。



Q 金沢市ホテル跡地の開発、日銀金沢支店跡地の活用、片町再開発など、金沢駅前から片町までの都心軸の整備において、県市連携の観点からの今後の関わり方や支援策を聞く。

A 都ホテル跡地では地域整備方針と開発計画の整合性の確認、日銀跡地活用では在り方検討会への参画、片町再開発における国の支援に併せて県の補助の検討により、県市連携で事業を進め、県全体の発展につなげていきたい。



喜多 浩一
金沢市 1期・まっすぐ県民目線の会



- ① 母校・森山小学校グラウンドでのマラソン大会
② 剣道の稽古

Q 子育ての出発点である妊娠・出産の時期を妊娠婦が安心して過ごせるようにするために、いかわ妊娠・出産サポートセンターでは具体的にどのような支援を行っているのか。

A 電話・メールでの相談対応に加え、助産師が個別訪問し、母子の体調確認や不安に対する助言などブッシュ型での支援を実施している。また、妊娠婦同士や助産師とのつながりを持てるよう、オンライン交流会も開催している。



荒木 博文
金沢市 1期・参政党



- ① 母親が作ってくれたおいしいお弁当やご飯を食べたこと
② 朝活。おかげで一日穏やかにスタートできている

解説!

「石川県食品の有効活用の推進に関する条例」とは?

条例の趣旨・目的は?

食品の有効活用は、家計や自治体の財政支出を減らすことにつながるだけでなく、食品の生産・流通・廃棄に伴うエネルギー・労働力等の無駄を減らすことで、温室効果ガスの排出削減や生物多様性の保全にも貢献します。

また、未利用食品を生活の困窮や災害等によって食料を必要とする人々に提供する取組は、食品を有効に活用する上で重要です。

さらに、県内で生産される農林水産物を県内で消費する「地産地消」の推進は、エネルギーの無駄の削減や環境保全、本県の農林水産業の振興にもつながります。

こうした考えを共有し、食品の有効活用を進めていくためにこの条例を制定しました。

賞味期限と消費期限

食品に記載されている「賞味期限」と「消費期限」。違いは分かりますか?この違いを理解したうえで適切に食品を管理し、無駄を削減しましょう。

■賞味期限…定められた方法により保存した場合において、期待される全ての品質の保持が十分に可能であると認められる期限

■消費期限…定められた方法により保存した場合において、腐敗、変敗その他の品質の劣化に伴い安全性を欠くことになるおそれがないと認められる期限

議員提案で誕生!

今条例は、議員提案により制定しました。政策調査会(4回)及び同調査会検討委員会(7回)で協議を重ね、県民の皆様からのご意見も伺ったうえで、9月定例会において全会一致で可決・成立し、10月3日に公布・施行されました。

石川県

食品の有効活用で未来を支える!

- 食品の有効活用に関する施策の推進
- 食品ロス削減推進計画の策定
- 消費者への啓発活動
- 災害用に備蓄する食品の有効活用
- フードバンク活動の支援など



市町

関係機関との連携

- 国・県・食品関連事業者・消費者・関係機関と連携し、地域における食品の有効活用に関する施策の推進など

食品関連事業者

食品を活かし、地域をつなぐ!

- 食品の有効活用に積極的に取り組み、国・県・市町の施策に協力する
- 規格外・未利用農林水産物等の活用・フードバンク活動への協力
- 県内農林水産物等の積極的な使用や地産地消の推進など



消費者

ムダなく食べる!地元を味わう!

- 賞味期限や消費期限を正しく理解し、食品の購入、保存・調理方法を工夫する
- 地産地消への理解、県内農林水産物等の積極的な消費など



いしわかなまる
石若丸が
お答えします!

Q1 議員提案条例ってどんなもの?

A 県や市町村のルール(条例)は、知事や市町村長(首長)が提案し、議会で話し合って決めているよ。同じように議員も県民の声を反映し、「こんなルールが必要だ!」と思ったら、自分たちで条例を考えて提案することができるんだ。こうした議員が自分たちで考えて提案する条例を「議員提案条例」と言うんだ。これまでに施行された「石川県県産材利用促進条例」や「石川県スポーツ推進条例」なども議員が提案した条例なんだよ。



その他の
議員提案条例
はコチラから

Q2 県議会で決まったこと(条例など)は、その後どうやって行われるの?

A 議会で「こうしよう!」と決まったことは、知事や県の職員が実際に動いて実現していくんだよ。例えば、新しい公園をつくると決まったら、県の職員が専門業者と一緒に設計や工事に取り組むんだ。議会は「決める」、県庁は「動かす」っていうチームプレーで進めているよ。



ISHIKAWA
県議会
だより

●お問い合わせ/石川県議会事務局企画調査課

〒920-8580 金沢市鞍月1-1

TEL 076-225-1036 FAX 076-225-1037

石川県議会ホームページ

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/gikai/> [検索]



石川県議会



県議会だより
デジタル版

県議会に対する
ご意見・ご提言
をお寄せください

[E-mailアドレス] gikai@pref.ishikawa.lg.jp

県議会では、県民の声を取り入れた運営に力を注いでいます。ご意見やご提言は、下記のE-mailからもお送りいただけます。ぜひ皆さまの思いを、県議会にお伝え願います。